



国土交通省

お知らせ

平成 21年 5月 1日

資料提供先: 島根県政記者会

死亡事故の発生箇所 カーブ区間に分離帯を設置しました!

- ・大田市温泉津町湯里の国道9号の登坂車線では、平成19年12月に女性がなくなった事故が発生するなど、西進する車両が追い越し車線で加速し、対向車線にはみ出して衝突する事故が多発していました。
- ・昨年9月には、大田市交通安全協会、地元の方、大田市、大田警察署、松江国道事務所が集まり現地検討会を開催しました。
- ・検討会では、危険なカーブ区間に中央分離帯を設置するなど対策案が求められ、12月から工事に着手していました。
- ・この度、その工事が平成21年4月24日に完成しましたので、お知らせします。
- ・今後とも国道9号の通行の安全性を高めるため、交通安全施設の整備に努めて参ります。



現地検討会の様子

【問い合わせ先】 国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副所長（管理） にしにおり ゆたか 錦織 豊 （内線205）

管理第二課長 さとう まさる 佐藤 勝 （内線441）

電話 0852-26-2131（代表） FAX 0852-22-9731
0852-60-1347（管理第二課直通）

○位置図



○現地写真



対策前



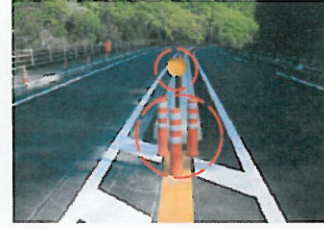
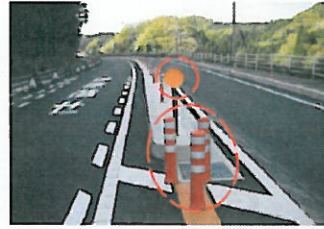
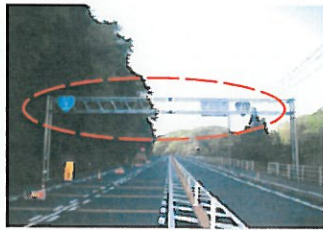
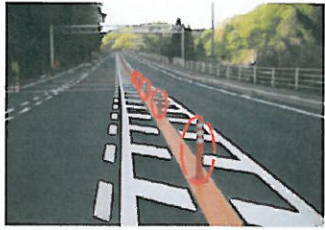
対策後

対策内容

ゼブラ帯設置及び車線分離標の設置

「はやい車」「おそい車」の標識板の撤去

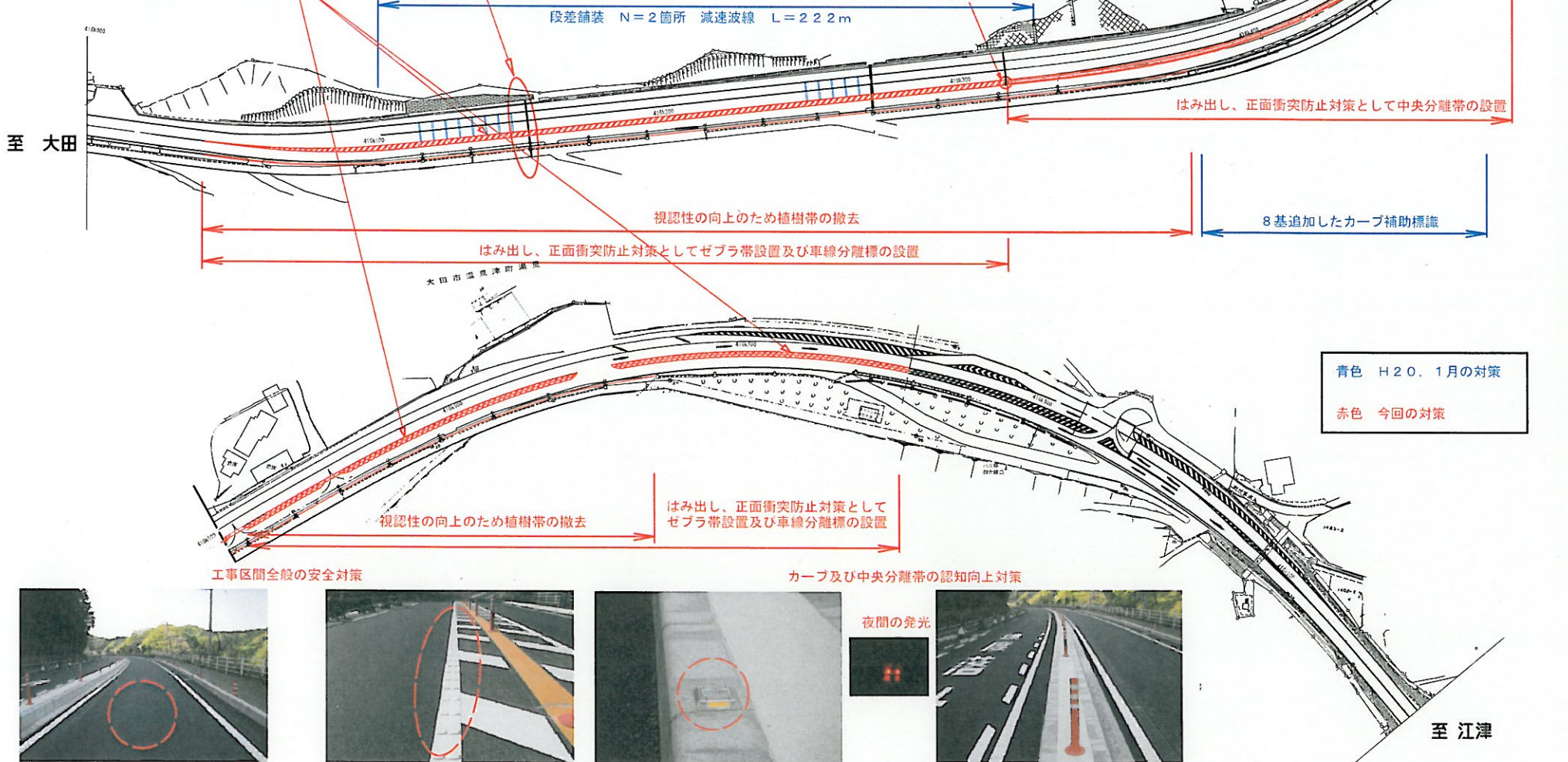
大型視線誘導標と大口径車線分離標を設置



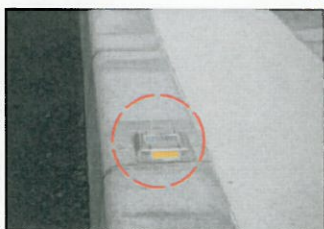
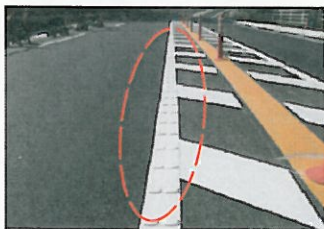
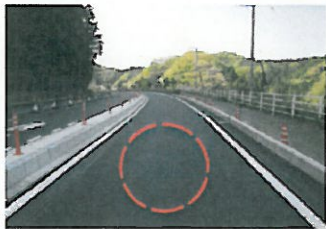
ゼブラ帯、車線分離標（全反射）を設置し「はみ出し」「正面衝突」を防止します。

「はやい」と言う表現をなくし、心理面の高揚を抑制しました。

(起点側) 中央分離帯の起終点に配置し夜間の認知性の向上に配慮しました。
(終点側)



青色 H20. 1月の対策
赤色 今回の対策



夜間の発光

舗装の修繕
走行性を良くするために舗装を直しました。

はみ出し防止区画線の設置
タイヤが乗ると音が鳴り、運転者に注意を促します。

自発光式道路標識を設置
太陽電池で夜間に赤く光り、急カーブの注意喚起を促します。

中央分離帯に視線誘導標を設置しました。
夜間のライトで全体が反射し視認性が向上し距離感がつかみやすくなります。

※ 一部工事中の写真を含んでいます